NEWS RELEASE

令和元年１２月　６日資料配布

国土交通省 神戸運輸監理部

海事振興部

船の乗組員が海運や港の大切さ、役割を教えた

～神戸市内の小学校で出前授業～

神戸運輸監理部は小中学生を対象に「海」や「船」に関する理解を深め、海事分野の若年層の人材確保を目的に出前授業を実施しています。

１１月29日と12月３日、神戸市内の小学校において海の魅力と船の役割、そして、神戸港の大切さを伝える出前授業を行いました。

練習帆船「日本丸」の元船長、外国航路の経験を有する現役フェリーの乗組員が、四面を海に囲まれた島国日本では原料や食料など様々な物資の輸送に船が使われ、貿易量の 99.6%を占め、海運や港が私たちの暮らしに重要な役割を担っていることなどについて、クイズを交えながら子どもたちに話しました。

「船が山を越えるって知ってる？」と言われ、きょとんとしていた子どもたちも、パナマ運河の仕組みや通航料、通過日数の説明を聞いて、「エッ、ほんまに」と理解をしていきます。外国の海で海賊に追いかけられて追っ払った話、長い航海の間に乗組員同士で散髪をし合う話等々、初めて聞く知らない世界の話に子供たちはどんどん引き込まれ、「サメに襲われないか？」「１年間にどれくらいの船作られるのか？」「積み荷のコンテナは海に落ちないのか？」など、どんどん質問が相次ぎ、45分間の授業もあっという間でした。

11/29 神戸市立北五葉小学校 4 年生 56 名

12/3 神戸市立向洋小学校 4 年生 156 名

先生からも神戸港には校外学習で行くけれど、船が着いている間近なところまでは見学できず、今日の話は自分自身にとっても本当に勉強になったとの感想をいただいています。

神戸運輸監理部では、引き続き、自治体や教育委員会、海事関係企業や団体と連携し、海事分野における若手人材の確保・育成を目指して小中高校生対象の出前授業、施設見学会や海洋教室などに取り組んでいきます。

配布先
神戸海運記者クラブ

問い合わせ先

神戸運輸監理部　海事振興部
担当：塚本　電話：078－321－3149（直通）
海や船が「楽しく身近な存在」になるための取組み。
C to Sea プロジェクト
ポータルサイト「海ココ」→